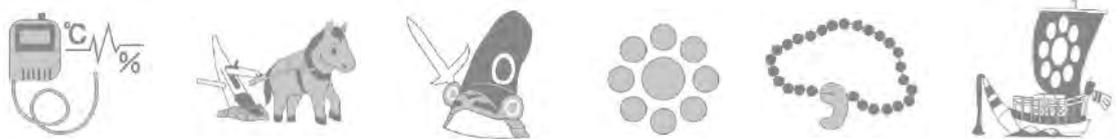


小学校社会科

学習内容説明書

学習セット・学習プログラムの紹介



学習No.	3-1(P)	学年 単元名	3年【わたしたちの住むまちや市】『わたしたちの住むまち』 (導入)「まちをのぞいて(熊本博物館の紹介)」
タイトル	「博物館って、どんなところ？」		所要時間 1単位時間(45分)
内容	博物館や美術館はいったいどのような施設なのか、働いている人の話を聞く。		
活用する資料など	人材派遣による指導・支援		
展開の概略(補足)	<p>私たちのまちにある博物館や美術館について、『モノや絵がケースの中に並べてある建物』というイメージはあるが、実際の博物館や美術館が“担っていること”は何かなど、そこで働いている人たちの仕事を通して知ってもらおう。</p> <p>スライドや黒板を使って授業形式で進め、適宜グループで話し合いなども取り入れ、博物館や美術館への理解を深めてもらう。</p> <p>【保存科学】</p>		

学習No.	3-2(S)	学年 単元名	3年【わたしたちの市と生活のうつりかわり】 (導入)「昔の熊本市」
タイトル	「少し昔の熊本市中心部」		所要時間 25分程度
内容	熊本出身の画家・甲斐青萍が描いた熊本市中心部の町並図や風俗図などを手がかりに、明治～昭和初期にかけての熊本市中心部の様子を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	甲斐青萍画《熊本昭和町並図屏風》、《風俗図》など		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。熊本出身の画家・甲斐青萍が描いた熊本市中心部の町並図や風俗図のほか古写真などを参照し、少し昔の熊本の様子を見ることで熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。</p> <p>2019年に開催した特別展覧会『追憶の熊本-画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶-』の縮小版。</p> <p>【美術工芸】</p>		 <p>甲斐青萍画《熊本昭和町並図屏風》</p>

学習No.	3-3(S)	学年 単元名	3年【わたしたちの市と生活のうつりかわり】 「昔の熊本市」
タイトル	「伝統的工芸品」学習セット(川尻刃物・桶等)		所要時間 20分程度
内容	町に住む人々の職業から町の成り立ちを考える。		
活用する資料など	川尻桶・刃物・肥後絣織など		
展開の概略(補足)	<p>川尻で作られてきたもの(桶・刃物・肥後絣織)がどのようなものであったかを知り、その背景にある地理的・歴史的な要因を考える。【民俗】</p>		
			

学習No.	3-4(P)	学 年 単元名	3年【わたしたちの市と生活のうつりかわり】 「くらしのうつりかわり年表」「熊本博物館って？」	
タイトル	「昔の道具を比べてみよう」(燭台・火のし・水筒等)		所要時間	1単位時間(45分)
内 容	道具の移り変わりを通して、生活の変化を学ぶ。			
活用する 資料など	燭台・水筒・火のしなど			
展開の 概略 (補足)	<p>燭台・水筒・アイロンなどの変遷を通して、化学製品や電化製品の登場により生活が変化してきたことを学ぶ。【民俗】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>			

学習No.	4-1(P)	学年 単元名	4年【わたしたちのまちの文化財や年中行事】 (学習のまとめ)「地域に残る年中行事」
タイトル	「祭り用具を紹介します」		所要時間 1単位時間(45分)
内容	祭りの種類と役割		
活用する資料など	神楽鈴・モグラ打ち・カセドリ馬など		
展開の概略(補足)	<p>熊本で行われている季節の祭り、家庭や地域でなされる年中行事等を紹介するとともに、祭りの持つ社会的な役割(地域連携)を学ぶ。【民俗】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		

学習No.	4-2(S)	学年 単元名	4年【きょう土をひらく】『台地をうるおす』 「水が通る橋—通潤橋—」
タイトル	「通潤橋ができるまで」学習セット		所要時間 25分程度
内容	通潤橋がつくられた時代背景と、実際の工事について簡単に説明し、博物館所蔵の関連資料を紹介することにより子どもたちの興味関心を高める。		
活用する資料など	「通潤橋支保工模型」、「通潤橋古写真」、「通潤橋渡り初めの草履」など		
展開の概略(補足)	<p>PC、プロジェクター持ち込みによる講話形式。 通潤橋が作られた白糸台地についての説明と、教科書では伝えられていない通潤橋架設に関するエピソードを紹介する。これとともに、通潤橋を含む白糸台地一帯が「重要文化的景観」に選定されていることに触れ、景観保護に関する関心を喚起する。 【歴史】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: right;">通潤橋支保工模型</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="text-align: left;">渡り初めの草履</div> </div>		

学習No.	4-3(S)	学年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】『伝統的な技術…』 「県内にある伝統的な技術を生かした…地域」
タイトル	「肥後のやきもの」		所要時間 25分程度
内容	江戸時代以降、熊本で生産されたやきものを紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	小代焼、八代焼、網田焼など		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。加藤氏や細川氏の入国によって肥後の各地域に根付いたやきものの歴史や特徴について説明する。 現在は廃窯になっている産地も多く、現在ではあまり知られていない熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。 【美術工芸】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>八代焼(上野東四郎作)《灰釉獅子香炉》</p> </div>		

学習No.	4-4(S)	学 年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】『伝統的な技術…』 「県内にある伝統的な技術を生かした…地域」
タイトル	「肥後の刀剣」		所要時間 25分程度
内 容	熊本で生産された刀剣類を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	延寿派や同田貫派の刀剣類		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。菊池氏と繋がりの深い延寿派や肥後藩の庇護を受けた同田貫派など、熊本ゆかりの刀剣類を説明する。希望があれば実物資料(未研磨)を鑑賞する時間を設ける。現在ではあまり馴染みのない刀剣を知ることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。</p> <p>【美術工芸】</p>		 <p>刀(銘: 肥後同田貫宗広 / 嘉永三年三月日)</p>

学習No.	4-5(S)	学 年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】『伝統的な技術…』 「県内にある伝統的な技術を生かした…地域」
タイトル	「伝統的工芸品」		所要時間 15～30分程度
内 容	熊本で受け継がれてきた伝統的工芸品の歴史や特徴、またそれを支えてきた職人について紹介する。		
活用する資料など	熊本博物館所蔵品(肥後象嵌など)		
展開の概略(補足)	<p>校区あるいは校区周辺で伝承されている伝統工芸品があれば、それを取り上げるのが望ましい(担当教員と事前打ち合わせが必要)。実物資料やパネルを使用して身近な伝統的工芸品のほか、それらを支えてきた職人たちについても紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職人さんのスゴイ技に注目してみよう! <p>※ 取り上げる伝統的工芸品については要相談</p> <p>【美術工芸】</p>		 <p>例) 肥後象がん文鎮</p>

学習No.	4-6(S)	学 年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】『国際交流に…』 「熊本県内の姉妹友好都市交流」
タイトル	「熊本と外国の都市との交流」学習セット		所要時間 15分程度
内 容	熊本市の友好都市のひとつ、中国・桂林市から贈られた美術品など(熊本博物館所蔵)を紹介し、外国都市との交流について興味・関心を高める。		
活用する資料など	「唐貴休尊者石刻拓本」、「モンタナ州からの恐竜の卵」、その他		
展開の概略(補足)	<p>PC、プロジェクター持ち込みによる講話形式を想定。友好都市の位置や、贈られた記念品の紹介を行う。また、熊本城など近年外国人観光客が増加している市内観光名所での取組などについて紹介する。</p> <p>【歴史・美術工芸】</p>		 <p>唐貴休尊者石刻拓</p>  <p>「龍」一字</p>

学習No.	5-1(P)	学 年 単元名	5年【わたしたちの生活と食料生産】『米作りのさかんな地域』 「祢津さんの米作り」
タイトル	「昔の米作りの一年間:熊本版」		所要時間 1単位時間(45分)
内 容	稲作に関する道具を通して、農家の知恵や農業技術の進歩を学ぶ。		
活用する資料など	田植え綱・除草具・箕・鎌・千歯扱きなど		
展開の概略(補足)	田植え技術の変化(正条植)にともない農機具が変わってきたことを学ぶ。【民俗】		
			

学習No.	5-2(S)	学 年 単元名	5年【わたしたちの生活と環境】『自然災害を防ぐ』 「地震・津波・風水害への取り組み」
タイトル	「熊本の災害史」学習セット		所要時間 25分程度
内 容	熊本の地で起こった主な自然災害について紹介。寛永の大地震、寛政大津波、白川水害などにふれ、平成28年熊本地震で高まった自然災害への防災意識を高める。		
活用する資料など	「熊本城絵図」、「熊本城下絵地図」、昭和28年白川水害関係写真など		
展開の概略(補足)	<p>PC、プロジェクター持ち込みによる講話形式。 本丸御殿と花畑屋敷の関係性を絵地図で説明(寛永地震の影響)。島原雲仙の噴火と寛政大津波の発生、熊本市沿岸部での被害について説明。写真資料が残る白川水害なども合わせて紹介し、熊本市がたどった自然災害罹災の歴史を振り返る。【歴史】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>熊本城真景図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水害スケッチ</p> </div> </div>		

学習No.	5-3(S)	学 年 単元名	5年【わたしたちの生活と環境】『わたしたちの生活と森林』 「守っていききたい森林」
タイトル	「熊本の林業」学習セット		所要時間 20分程度
内 容	道具を通して林業に影響を与えたエネルギー革命・農業の変化を学ぶ。		
活用する資料など	ノコギリ・鳶口・ヘラなど		
展開の概略(補足)	炭焼きが行われなくなって木材の価値が下がったことや、自然と共存した焼畑農業が日本でなされ、それが森林の生態系を守ってきたことなどを学ぶ。【民俗】		
			

学習No.	6-1(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『縄文のむらから古墳のくにへ』 「大昔のむらのくらし」
タイトル	「縄文」学習プログラム(土器・石器・土偶など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(三内丸山遺跡など)だけでなく、地元の遺跡から出土した遺物(実物)に触れることで、熊本市内にも貝塚など縄文時代の遺跡が数多く存在することを学習する。また、道具の使い方を予想し、縄文時代の人々の暮らしについて興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	縄文土器・打製石鏃・打製石斧・磨製石斧・獣骨(イノシシ・シカ)・貝製品・土偶など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:縄文時代の遺跡としては、市内でも台地上の遺跡(上南部遺跡)や、縄文海進時には海に面していた低地		

学習No.	6-2(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『縄文のむらから古墳のくにへ』 「板付遺跡と米づくり」
タイトル	「弥生」学習プログラム(土器・石器・青銅器など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(板付遺跡など)だけでなく、地元の遺跡から出土した遺物(実物)に触れることで、熊本市内の遺跡からも「石庖丁」など弥生時代の遺物が出土することを学習する。また、道具の使い方を予想し、弥生時代の人々の暮らしについて興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	大型甕棺の写真、弥生土器・石庖丁・磨製石鏃・青銅器・鉄器など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:弥生時代の遺跡としては、市内で最も早く稲作を開始したと考えられる江津湖遺跡群や、市内各地(神水・花園・黒髪など)発見の甕棺墓などがある。		

学習No.	6-3(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『縄文のむらから古墳のくにへ』 「巨大古墳と豪族」
タイトル	「古墳」学習プログラム(鏡・石棺・馬具・武器・装身具など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(大仙古墳など)だけでなく、熊本に分布が集中する装飾古墳などについて紹介し、熊本市内にも国史跡千金甲古墳群をはじめ、多くの古墳が存在することを学習する。また、鏡・馬具・装身具など豪華な副葬品について学び、古墳への興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	装飾古墳(千金甲古墳1号墳)や家形石棺の写真、須恵器・鏡・馬具・武器・装身具など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な古墳を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:古墳時代の遺跡としては、市内でも千金甲古墳(小島)、釜尾古墳(北部町)、稻荷山古墳(清水町)、つつじヶ丘横穴群(黒髪)などがある。【考古】		

学習No.	6-4(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『天皇中心の国づくり』 「仏教の力で国を治める」
タイトル	「肥後国分寺」学習プログラム(土器・瓦など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	奈良時代には全国に国分寺が造営され、熊本市内にも当時は肥後国分寺をはじめ古代寺院が存在し、すでに仏教が広まっていたことを学習する。また出土遺物(土器・瓦など)の実物に触れて、瓦の文様(蓮華花など)についても学び、古代寺院への興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	古代寺院の想定写真、肥後国分寺跡出土の軒丸瓦・軒平瓦、渡鹿廃寺出土の鬼瓦など		
展開の概略(補足)	<p>遺物(実物)を見せるため、グループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲等、事前打ち合わせ必要)。 例: 奈良時代の遺跡としては、市内でも肥後国分寺跡(出水)、国分尼寺跡(水前寺)、大江遺跡群(大江・渡鹿)、二本木遺跡群(二本木)などがある。【考古】</p>		

学習No.	6-5(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『今に伝わる室町文化』 「新しい文化が生まれる」「室町文化と現在のつながり」
タイトル	「肥後の絵画—雪舟流を受け継いだ矢野派—」		所要時間 25分程度
内容	室町時代に活躍した雪舟の流れを汲むとされる肥後藩のお抱え絵師の一派・矢野派を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	矢野派の絵画作品・系図		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。 江戸時代、肥後藩のお抱え絵師の一派として活動した矢野派の絵師による作品を説明する。 室町時代の雪舟らの表現がどのように受け継がれているかを考えることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。【美術工芸】</p>		 <p>角田二花山筆《鍾馗図》</p>

学習No.	6-6(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『戦国の世から天下統一へ』 「大阪城と豊臣秀吉」
タイトル	「豊臣秀吉と加藤清正」学習プログラム		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書で取り上げられる戦国時代において、熊本はどのような状況であったかを紹介する。鎌倉～室町時代の概略、秀吉の天下統一と清正の肥後入国について説明し、それがどのような意味を持ったのかを考える。		
活用する資料など	「託麻原合戦図」、「隈本古絵図」、清正/各種肖像画など		
展開の概略(補足)	<p>PCとプロジェクター、一部資料持ち込みによる講話形式を想定。中世の熊本と菊池氏、戦国時代における九州諸勢力と肥後国衆(豪族)の動向について説明。博物館が所蔵する資料を紹介し、地方史と全国史の関係について理解を深めてもらう。 秀吉「刀狩令」の持つ意味についても説明。 加藤清正が熊本へ来た意味、残した治績を通して地域の歴史への興味関心を高める。【歴史】</p>		 <p>託麻原合戦 加藤清正像</p>

学習No.	6-7(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『江戸幕府と政治の安定』 「徳川家康と江戸幕府」
タイトル	「熊本城出土品」学習プログラム(瓦・陶磁器など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(江戸城など)だけでなく、地元:熊本のシンボルともいえる熊本城について学習する。特別史跡熊本城跡の中ではこれまで何度も発掘調査が行われており、瓦や陶磁器など多くの出土品が存在する。実物に触れることで、熊本城への興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	熊本城の写真、熊本城跡出土の江戸時代～明治時代の瓦・陶磁器・木材・鉄製品など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるため、グループ学習(6班程度)が望ましい。【考古】		
			

学習No.	6-8(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『町人の文化と新しい学問』 「江戸や大阪のまちと人々の暮らし」
タイトル	「江戸時代の熊本」学習セット		所要時間 25分程度
内容	江戸時代の熊本城下町では人々がどのように暮らしていたのか、博物館資料を交えて紹介する。城下の様子と現在の比較、江戸時代の「学び」や「消費」「旅行」の様子など。		
活用する資料など	「熊本城下絵地図」「藩札」「商売往来」「西国道中記」「江戸時代の領収証」など		
展開の概略(補足)	<p>「熊本城下絵地図」の説明と現在の熊本市街地との比較。「城下にはどんな人が暮らしていた?」「人々はどのような生活をしていた?」 ⇒ 江戸時代の人々はどのように学問をしていた? ⇒ ある商人の日記から(四国への旅) ⇒ 古写真で見る新町付近と現在の様子</p> <p style="text-align: right;">【歴史】</p>		
			

学習No.	6-9(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『町人の文化と新しい学問』 「人々が歌舞伎や浮世絵を楽しむ」
タイトル	「熊本発! 超絶技巧ー生人形の世界ー」		所要時間 25分程度
内容	熊本出身の人形師が火付け役となり、幕末に江戸や大坂といった大都市を中心に流行した生人形を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	江島栄次郎「清正公一代記」		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説。熊本出身の人形師・松本喜三郎や安本亀八らによる「生人形」が江戸や大坂で流行した背景を説明する。フィギュアや模型に通じる生人形の魅力を考えることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。【美術工芸】</p>		
			江島栄次郎作 《賊僧》

学習No.	6-10(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『明治の国づくりを進めた人々』 「新しい世の中の文化や生活」	
タイトル	「熊本と明治の新しい世」学習セット		所要時間	25分程度
内容	明治となり、日本は急速な変化を遂げていく。このとき、熊本ではどのような変化を迎えたのか資料を交えて紹介。大きく生活様式が変わっていきなかに、熊本はどのような変化を迎えたのか説明する。			
活用する資料など	「元田永孚書状」、「訓導小学校教導之図」、「神風連の乱錦絵」など			
展開の概略(補足)	「郵便制度」などを一つの手がかりに、江戸時代から明治時代への変化を確認する。 ⇒「学校制度」の発足 ⇒「藩」から「県」へ ⇒変化への反発～熊本と二つの戦乱 ⇒町の変化と現在の熊本とのつながり 【歴史】		 <small>錦絵 神風連の乱</small>	<small>甲斐青萍筆 明治風俗画</small> 

学習No.	6-11(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『世界に歩み出した日本』 「発展していく日本」	
タイトル	「熊本:明治の産業」学習セット		所要時間	20分程度
内容	近代以降、繊維産業の移り変わりを学ぶ。			
活用する資料など	実繰・座繰・力食社扁額 など			
展開の概略(補足)	木綿から絹へと繊維産業の中心が移り変わるとともに、道具が変化していくことを学ぶ。【民俗】			
				

学習No.	6-12(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『長く続いた戦争と人々の暮らし』 「すべてが戦争のために」	
タイトル	「戦時中の暮らし」学習プログラム		所要時間	1単位時間(45分)
内容	戦時下の道具を通して、庶民の生活を知る。			
活用する資料など	配給切符・婦人部タスキ・木銃・千人針など			
展開の概略(補足)	戦争が庶民の生活にも影響を与えたこと(物資不足・軍事訓練など)を学ぶ。【民俗】			
				
				